

# 花咲き山

令和3年度  
飯豊町立飯豊中学校  
第2学年だより  
第5号  
2021.4.29  
文責：小松正義

## 信頼し合える関係を

順調なスタートと同時に、日常生活の中で考えなくてはいけないことも起きています。心ない行動と不要物の持ち込みです。

男子トイレの大便器の中にトイレットペーパーの芯が捨てられていました。子ども達からの情報で、直前には洗面所の上にあったということですから、誰かが故意にしてみましたこととなります。

女子が着替えに使っている学習室からアイプチ（まぶたに化粧を施すもの）が見つかりました。学校では不要とされているものです。持ってきてしまった人、使った人、見えて何も言えなかった人それぞれが名乗り出てくれました。こちらもトイレで起きていました。

どちらの出来事も、大人からすれば「中学生ぐらいならよくあること」「そんな小さなことで…」と思われるかもしれませんが、しかし学年としては、2つの視点で大きなことと捉え指導しました。

(1) 公共の場（トイレ）をたまり場として使っていること。使用目的以外にこのような状況にあれば、1年生はそのトイレに入ってこれるでしょうか。気の弱い人が堂々と使用できるでしょうか。そういう雰囲気をいつの間にか作っていることに気づいていないということです。

(2) 女子は勇気を持って、みんな名乗り出てくれました。指導の内容も理解してもらえたと思っています。男子は未解決のままです。このことが学年としては一番大きなことと捉えています。失敗は誰にもあります。その失敗をしっかりと認め解決できる集団になれなかったことです。

今まで、いろんなことを自分たちで考え、自分たちで解決できる学年を目指してきました。失敗しても反省し前進できる集団は、信頼も得られます。物事をうやむやにしかできないところに信頼関係は生まれません。だからこそ、失敗しても女子のようになってほしかった。男子が未解決のままであることが一番悔やまれることなのです。

友達関係も同じだと思います。ダメなものはダメとってくれる関係こそ、「親友」「信頼できる友」だと思います。お互い信頼し合える教師と子どもの関係、子ども同士の関係、親と子の関係を作っていきたいものです。

## 目的意識を持った学習を

お忙しい中、授業参観並びに学年部会総会への参加ありがとうございました。部会総会中の学年経営、学習についての説明でも触れましたが、今年度は目的意識を持って学習に取り組んでほしいと願っています。

何を目標に学習するのか、目標達成のためにはどのくらい理解する必要があるのかは、一人ひとり違います。すでに目的意識を持って、自分なりに家庭学習を工夫している人もいますが、ほとんどが、宿題の消化に終わっているようです。中には未提出を指摘されたくなくて、答えを写して提出している人もいます。高校入試は、3年の内容よりも1・2年の内容の方が多く出題されます。3年になってからでは間に合わないことも多くあります。

### (1) 自学は何のためにするのか

1年生の時は、「家でも自分でやる習慣をつける。」ことを目標に実施してきました。定着した人と定着しなかった人の差はあるようですが、2年生ではその上を目指してほしいと願っています。自分のために必要な量と質を考えて、実のある家庭学習にしてほしいということです。

平日1ページは、義務ではなく最低でも必要な量ととらえてほしいのです。必要な時は2ページ3ページ、自分で考えて行ってほしいのです。

### (2) 自分のレベルを判断

今年度は家庭学習で行うテキストを選択してもらいます。基礎定着・実力アップ・チャレンジといった中から、自分の力を伸ばすには何を選択すれば良いのかを考えてほしいのです。基本的なことをつまづいている人が難しい問題に挑んでも効果はありません。逆に充分力があるのに簡単な問題でお茶を濁しては、お金の無駄遣いです。選択する際には、ぜひお家の方からもアドバイスをお願いします。

## 家庭訪問について

各学級通信でお知らせしたように、5月6日から担任が各ご家庭を訪問させていただきます。次のことを確認させてください。

### ①お子さん同席の3者面談です。

子ども達は、家庭訪問の時間に間に合うように帰宅します。帰宅後の部活動への参加は、本人が決めます。

### ②短時間の訪問ですので、おもてなしはしないでください。

学校での様子、家庭での様子、親としての期待や不安、本人の決意や悩みなどしっかり話せる時間だけ作ってください。

### ③担任は答えられる範囲でのみご回答します。

質問や要望に対して、担任だけの判断で即答できない場合もあります。そのような場合は預からせていただき、後日回答ということもありますので、あらかじめご了承ください。